

1. 12月全国行事

- | | |
|---------------|--------------|
| 1) 冬の省エネ総点検の日 | 12月1日 |
| 2) 大気汚染防止推進月間 | 12月1日～12月31日 |
| 3) 地球温暖化防止月間 | 12月1日～12月31日 |
| 4) 年末年始無災害運動 | 12月15日～1月15日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : パソコン作業の労働衛生管理

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 当社の事故・災害事例から : 平成6年12月 ブロアーのVベルトに挟まれ指を骨折

5. 今月のヒヤリハット

6. その他

3. 安全・衛生・防災の心得 : パソコン作業の労働衛生管理

平成20年、厚生労働省がパソコンを使って仕事をする会社員に対して実施した調査では、身体的な疲労や症状を感じている人は約69%で、内容は目の疲れが91%で最も多く、次に首や肩のこり・痛みが約75%でした。使用時間が4時間以上6時間未満の人では80%以上の人が不調を訴えていました。近年、平成20年当時と比べ、パソコンやスマホ、その他ビジュアル機器等が職場や家庭電車や車の中などで頻繁に使用されています。その結果、老いも若きも肩こりや腰痛、目の疲れなどを訴える人が多くなってきています。業務でパソコンなどを長時間使用する人に対して平成14年厚生労働省では、「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」を策定して次の項目の徹底を呼びかけています。

☐ 作業箇所の採光や照明などの「作業環境管理」

☐ 作業時間や作業量などの「作業管理」

☐ VDT機器及び作業環境の点検・清掃などの「維持管理」

☐ 健康妨害防止を図るための「健康管理」

パソコンなどのVDT作業を長時間行なえば家でも同じように疲労はたまります。パソコンから離れて休憩をとるなど、疲れをためずにパソコンと上手に付き合うことが大切です。職場でも家でも、体にできるだけ負担をかけないパソコン等の使い方を心がけましょう。



4. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

①宇都宮工場

3段式ケース入り扇風機



②関西技術センター

棚の転落防止



5. 当社の事故・災害事例から：ブロアーのVベルトに挟まれ指を骨折

平成6年12月 廃ガス処理装置のブロアー前

1)災害のあらまし

バルブ工場の廃ガス用ブロアーに異常があると連絡を受けた作業員(現場経験3年)がブロアーのスイッチを切り、回転の停止を確認せず、また安全カバーを外さずに、カバーの下から手を差し入れ、Vベルトの張りを点検中、皮手袋をした左手が巻き込まれ薬指先を骨折した。

2)被災程度 不休 全治30日

3)原因、問題点

- ①人的要因：設備保全担当で日頃の慣れにより、作業手順を省略した。
- ②物的要因：回転が停止しないまま、カバーも外さずカバーの下から無理に手を入れた。
- ③管理的要因：作業標準書が無かった。

4)再発防止策

- ①朝礼、安全衛生委員会にて状況報告し、危険の確認と安全意識の高揚を図る。
- ②回転物に対しての取扱いの注意書を各掲示板に貼り、注意を促す。回転体の取扱いについてのKYTの実施。
- ③回転物に対しての作業標準書を作成する。



6. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「冷や汗かいた経験を 活かして 摘み取れ 危険の芽」

事例	イソナイトの塩浴が跳ね上がった。
どこで	イソナイト工場で。
あらまし	操炉場で、イソナイト1号炉に苛性ソーダを添加した時、スコップの中に苛性ソーダの塊りがあるのに気付かず、塩浴が跳ね上がった。
原因	スコップの中に苛性ソーダの塊りがあることを確認しなかった事。
教訓・対策	イソナイト炉に薬品を添加する時は、塊りがないか確認する事。

7. その他

<省エネについて>

必要な場所では点灯を行い、不必要な場所は消灯を行なうなど、無理のない省エネ活動を行なって下さい。

「資源は有限！ 工夫は無限！ 取り組む姿勢が未来を作る！」 H28年度環境保全最優秀作品